



ゴロスケ報々



イラスト：森の絵本づくりの会 絵本「月夜のおまつり」より

●友の会プロジェクト紹介 (PJ-STRIX)●

PJ-STRIX は、観察の森と周辺の円海山緑地でフクロウに関わる活動を行ってきました。

今まで行ってきた活動を振り返ってみると、

フクロウの調査・・・鳴き声による夜の森の調査（夜の森を歩きどこでフクロウが鳴いているかを調べる）、
巣箱の利用状況の調査（センサーカメラによる調査等）

巣箱の作成と架設・・・巣箱を作成、架設する。

外部のグループ等への支援・・・フクロウが営巣している木が台風などで倒れた等の外部からの相談に対して、代替手段として巣箱の作り方、架け方を支援する等。

となっています。

活動自体は、友の会にプロジェクト制度が出来る前から始まりましたので、もう30年以上になるでしょうか。長く活動に参加しているメンバーも多く、「高齢化」が現在の課題のひとつとなっています。

現在は、夜の森の調査はほとんど行っておらず、巣箱の利用状況の確認と外部のグループ等への支援が主な活動となっています。これからも出来ることをコツコツと、地道に活動を進めて行きたいと考えています。

PM：秋元文雄

友の会目標

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●2021年度安全管理講習●

オンライン開催「横浜自然観察の森における安全管理の考え方」

今年度の安全管理講習は下記の通り、「横浜自然観察の森における安全管理の考え方」をテーマに、昨年度より自然観察の森の指定管理者となった日本野鳥の会からお話を伺いました。

日時： 2021年7月18日（日） 10:45 ~ 12:15

講師： 掛下尚一郎さん
（公財）日本野鳥の会 施設運営支援室
横浜自然観察の森担当 チーフレンジャー

実施形態は、コロナ感染症が拡大する中でしたので、原則としてオンラインでのご参加をお願いし、会員18名とセンター関係者2名、計20名の参加がありました。

内容は、観察センターでの事故のリスクや発生状況、事故を未然に防ぐ「攻めの安全管理」と、発生した事故の損害を最小限に留める「守りの安全管理」の両面からの考え方、そして友の会の活動に関するリスクを具体的に示していただきました。

現在、観察センターでは、園内でリスクのある場所や私たちが承知しておきたい事項を整理した安全管理のマニュアルを作成中で、完成次第、定例会などの場で友の会の会員とも共有いただく予定です。

なお、講習の内容は著作権の関係で書面での配布や電子ファイルの提供ができませんが、観察センターで録画をしていますので、ご希望の方は、できるだけプロジェクト単位でセンターにご相談ください。

（中塚／安全管理担当）

●野草保護の助っ人：希少植物を守るための草刈り●

友の会に呼びかけ、7月13日（火）参加者3人スタッフ5人、17日（土）参加者2人スタッフ4人、希少植物保護のための選択的草抜きを行いました。

13日は降りそうな梅雨空、17日は夏到来の暑さ。なんでわざわざこんな時期に作業するのかというと、その植物たちは葉っぱだけ見ると、外来種のセイタカアワダチソウに似ているのです。そこで、見分けやすいよう、花の咲く時期に作業します。

PJの先輩たちに見分け方を教わり、希少植物を傷めないよう気をつけながらセイタカアワダチソウを抜き、アズマネザサを根際から1本ずつ切りました。おかげさまで、予定していた保護地区の作業は終わりました。助っ人が必要なときには、またお声かけさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

集まってくださった助っ人の方たち、ありがとうございました m(_ _)m

野草の調査と保護PJ [ふじた・かおる]

●7月定例会報告●

日時 2021年7月18日(日) 9:15~10:33 オンライン会議

出席者 青木、秋元、今村、大浦、大西、落合(司会)、志釜、関根(書記)、高橋、中里、西山、藤田、星隈、村松、山口、渡部、観察センター 掛下R、尾崎R

- 議題
- 1 友の会の6月から7月までの行事報告、プロジェクト報告をしました。
「オンラインで季節の森を歩こう」(ハンミョウの会)が実施され、他は中止となりました。
 - 2 10月までの友の会行事予定を確認しました。
実施予定の行事
「森を守るボランティア体験」(オンライン) 観察センター共催 ハンミョウの会担当
「オンラインで季節の森を歩こう」
「みんなでバードウォッチング」
「森の作業体験」
その他の一般の参加型行事は中止の予定です。予定している行事もコロナ感染状況により中止になることもあります。
 - 3 その他
・10月に予定されていた「秋の森まるごと体験」は中止します。
・小網代の森が大雨被害の為、当面の間全面閉鎖になっています。
・栄区区政推進課より「栄区民まつり」(11月6日日本郷中)の出展依頼がありました。センターとの話し合いの結果、出展を見合わせることにしました。
 - 4 センターより
センター便りのページをご覧ください。

〈次回の定例会〉

9月19日(日) 9:15~ オンラインでの会議を予定しています。
参加申し込みは後日メールで連絡します。

定例会は会員どなたでも出席できます。オンライン開催ですとご自宅から参加出来ます。

友の会行事のお知らせ

●森の作業体験(間伐体験)●

日時: 2021年9月25日(土) 10:00~12:00

萌芽更新などを目的に木を伐採する体験ができます。薪割りやコースター作りや竹細工なども体験できます。

集合: 10時までに観察の森・炭焼き小屋

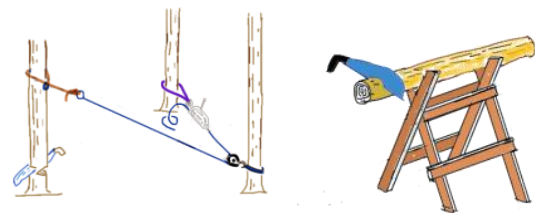
対象・定員: 5名(中学生以下、保護者同伴)

※多い場合は先着順とします。

申込期間: 8月21日(土)~9月22日(水)

申込: Fax(045-894-8892)(観察の森)

または、Eメール(entry@ynstomo.org)



※新型コロナウイルス感染防止緊急事態宣言が延長されるなど、やむを得ず中止する場合があります
ことをご了承ください。

担当: 雑木林ファンクラブ

森のこぼれ話

ふむふむ

おたまじゃくしまつり

もみの木園から、明日まつりをします、とお誘いがありました。この幼稚園は園舎を持たず、普段は舞岡公園で過ごしているのですが、年長と年中の大きな子たちは週に1度観察の森に来ています。まつりは、この大きな子たちが企画して準備もします。2歳から4歳までの小さな人たちが、お客さん。今年のまつりは「おたまじゃくしまつり」と聞いていました。準備ができた次の日がまつりの日です。

舞岡に行くと、広場の向こう側遠くにブルーシートが見えました。そこは「上郷の（彼らは観察の森を「上郷」と呼びます）ハイケボタルの湿地」なんだそうです。そして、「上郷は遠いからバスで行くんだよ」と、大きな子たちが段ボールで作ったバスに小さな子を1人ずつ乗せて、「湿地」に運びます。「湿地」には段ボールで作った木道もあって、段ボールのおたまじゃくしが泳いでいました。透明なぶちぶちの中に黒い丸が1つずつ描いてあって、それはカエルの卵だそうです。小さな子たちはおちゃまじゃくしをたくさん捕まえた、うれしそうに見せてくれました。

今年、大きな子たちは毎週木道に腹這いになり、卵がカエルになるまでを見届け、おたまじゃくしが大好きになって、このまつりに決まったそうです。

実は今年の初め、ハイケボタルの湿地の管理について、レンジャーを中心に友の会でカエルの卵の調査をしているみなさん始め、以前ハイケの湿地で調査や管理をしていた松田久司さん（友の会元事務局長）そしてこども行事担当の私もまぜていただいて、メールであれこれ相談しました。野草の調査と保護PJの方、カエルやカルガモやアライグマの研究者たちや、近隣でカエルの保全をしている方にもご相談しアドバイスをいただきました。

ハイケボタルの湿地のおたまじゃくしは一昨年、昨年と壊滅的な状況でした。卵はたくさん生まれるのですが、カルガモやアライグマに食べられてしまったり卵の発生が進まずに死んでしまったり。ほとんどの卵が孵化まで育ちませんでした。実はここ10年で、おたまじゃくしが少ないために、3月の「はじめてのちいさなしぜんかんさつ会」でハイケの湿地での観察を断念したことは何度もありました。

とにかく今までと違う管理方法を試してみなければ。でも、大きく変えてしまって、うまくいっている産卵が減ってしまっは一大事です。いろんな意見が出るので、掛下レンジャーは何度か計画図を描き直し、業者さんが作業に入る当日のぎりぎりまで計画を練り上げてくださいました。



結局、今年もたくさん産卵しましたが、一時期はほとんどの卵が無くなり心配しました。でも、網（買い物カゴが使われました）を被せた卵が食べられずに育ち、その後の遅い産卵の頃には、泥上げしなかった場所や刈り残しの草の根から芽が出て餌や隠れ場所となり、子どもたちが大好きになっておまつりしたくなるほど、たくさんのおたまじゃくしがカエルになりました。よかった♪

[ふじた・かおる]

昨年同時期の友の会フログ記事を再掲載して、この季節の森情報を紹介するコーナーです。

森の自然情報 フログより

今回は、2020年8月9日付け「鳥のくらし発見隊」さんのブログです。
友の会の殆どの活動はコロナ禍による中止期間が1年半を越えて、再開出来ない状況が続いています。
コロナ禍で迎えた2回目の夏、今年も梅雨明けと同時に真夏がやって来ました。昨夏も8月初旬は猛暑だったようです。森を歩くときは、熱中症にも注意しましょう。

編集担当

9月の「みんなでバードウォッチング」開催見合わせ

9月再開を目指して準備していましたが、最近の感染者数の増加から9月も中止します
今後の予定についてはまたこのブログでお知らせします

今日は暑さもすごくて、外をみんなで回るのもやめました
でも少し朝の様子や、午後回った時の森の様子をお知らせします

長倉口から入ると、目の前の大きなコナラの木に鳥が1羽飛んできました
少し小鳥より大きいし、止まり方などからアオゲラかな？
双眼鏡で覗いてみると全身ほぼ黄緑色っぽい
頭部の赤い部分がほとんど目立たなかったのでメスの幼鳥なのかな
すぐに木の裏に入ってしまいじっくり観察とはいかなかったのが残念

トイレのそばの大きなコナラの木に何やら動き回るものが



幼鳥らしいけどいまいちよくわからない

その後ここにはヤマガラ幼鳥、メジロ幼鳥、シジュウカラ幼鳥、ウグイスかセンダイムシクイかの幼鳥と来て首が痛くなった
動きが速いし、久しぶりの鳥の撮影でちっとも撮れませんでした

センター前で小さなハチが！と思ったらヨツシロカミキリです



人騒がせなんだから
この後のミーティングの時にも研修室に入ってきました

換気のために窓を開けているので侵入者はまだいました



ヒナカミキリです
小さくてもボールペンを近づけたら構えています
15mmくらいあったかな



【報告】 保安全管理フォローアップの会 (7/10 (土) 13~15時)

○参加者：友の会 4名 (今村修さん、高橋奈緒美さん、星隈豊さん、渡部克哉さん)
レンジャー 2名 (掛下尚一郎、中沢一将)

○内容：セイトカアワダチソウの調査と除草

昨年7月から始めたこの調査では、セイトカアワダチソウの駆除効果が季節によって変わるのかわかを調べています。1.5m×1.5m という狭い方形区ですが、その中で昨年7月に駆除した効果が見事に表れており、駆除していない周辺とは明らかに草丈も低く、細い株ばかりでした。今回も、方形区内のセイトカアワダチソウの高さ、被度、本数、湿重量を調査し、駆除を行いました。次回(9月)のフォローアップでも、昨年9月に実施した方形区の調査と除草の続きを行います。皆様のご参加をお待ちしています。

【お知らせ】 保安全管理フォローアップの会 今後の予定

★次回 9/11 (土) 13~15時

○内容：セイトカアワダチソウの調査と除草 上記報告を参照。集合：研修室

※資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下 (kakesita@wbsj.org) か中沢 (nakazawa-k@wbsj.org) までご連絡ください。

【募集】 アライグマ捕獲ワナの巡回ボランティア

今年度も外来種による生態系被害を防ぐため、アライグマの捕獲を実施します。たびたび、紙面でも報告していますが、園内に箱ワナを設置します。ワナによる捕獲では日々の巡回が必要となります。そこで今シーズンも巡回にご協力いただけるボランティアを募集します。

○内容：11月~3月のご都合のよい平日午前中(30分~1時間程度)ワナを巡回し、捕獲の有無の確認とエサの補充を行います。

ご協力いただける方、興味のある方は掛下 <kakesita@wbsj.org> までご連絡ください。どうぞよろしく願いいたします。

【お知らせ】 土砂崩れによるミズキの道の通行止め

7月2日から3日にかけて降った強雨の影響で、園内で土砂崩れが発生しました。(写真) そのため、ミズキの道 6番~ノギクの広場~10番(コナラの谷)~13番の間を通行止めとしています。大規模な災害で復旧の見通しが立たないため、しばらくミズキの道は周回することができません。

友の会の活動で、ノギクの広場やコナラの谷へ入る必要がある場合は、必ず担当レンジャーにご相談ください。

今後も崩落が拡大したり、その他の場所でも土砂崩れや倒木が発生したりすることがあります。警報発令時や悪天候後の活動については特に慎重にご検討ください。



【お知らせ】 企画展「森の小さな道を歩こう ウグイスの道」

9月よりはじまる企画展「ウグイスの道」では、森のトンネルや、草やぶのある小路を歩く楽しみをご紹介します。道の風景や見られる季節ごとの生きものを展示します。また、ときに嫌われがちな、つる草と草やぶの環境が、森で大切な役割を果たし、生きものに隠れ家やすみかを提供していることを伝えます。

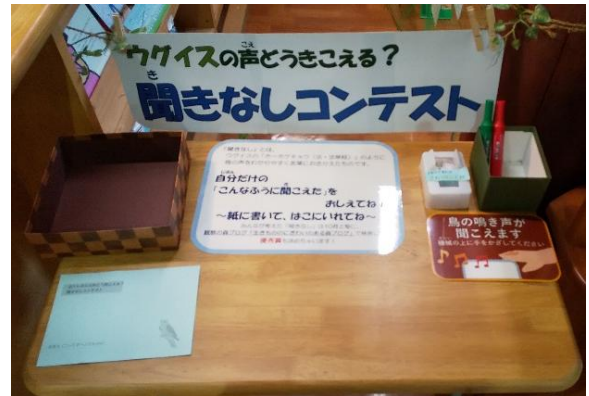


【報告・お知らせ】 「聞きなしコンテスト」 募集中!

観察センターの「この森の野鳥」の展示コーナーでは、今年度、「聞きなしコンテスト」と称して、テーマの鳥の音がどんな風に聞こえるかアイデアを募っています。

4・5月はウグイスを募集。一般的に「ホーホケキョ」と聞こえる声ですが、結果を見ると…「もーほっといて!」「法、守れ〜」「ホー北海道!」などなど独創的な案が。

最もレンジャーズの心に響いたのは「今日、遊べる?」でした。

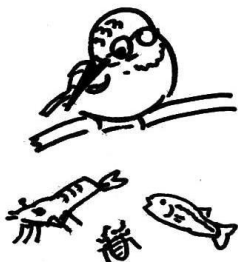


9月末にかけては「特許許可局」と鳴くことで有名な、「ホトトギス」をテーマに聞きなしを募集しています。

展示コーナーでまずは声を聞き（センサーで鳥の音が聞けます）、自由に考えを膨らませてみてください。

**ボランティアさん
ありがとう**

6月1日～7月31日



- 6/1～ カワセミファンクラブのみなさま
自然情報のご提供・園内の利用状況の情報提供
- 6/1～ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供
- 6/8、6/22、6/29 藤田薫さん 岸本道明さん
ナラ枯れ対策のトラップの設置・巡回へのご協力
- 6/9 雑木林ファンクラブのみなさま ストーブ用薪のご提供
- 6/13、7/11 鳥のくらし発見隊のみなさま 野鳥情報のご提供
- 6/24 平野貞雄さん 園内設備破損についてのご報告
- 6/30 平野貞雄さん 展示用写真のご提供
- 7/28 雑木林ファンクラブのみなさま 関係者駐車場の草刈

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<https://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>



指定管理者:

行事スケジュール 8月～10月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●(一般参加者募集)

●秋の特別写真展

「横浜自然観察の森で見られる冬の野鳥展」
この森で冬に見られる野鳥達の姿を写した写真展です。厳しい冬を野鳥達がこの森でどう過ごしているのか、活写された美しい写真で来場者に楽しんで頂きます。

場所：自然観察センター内

日時：9/26(日)～11/27(土)

担当：カワセミファンクラブ

●森の作業体験(間伐体験)

日時：9/25(土) 10:00～12:00

定員：5名(中学生以下は保護者同伴)

(申込多数の場合は先着順)

申込：Fax 045-894-8892(観察の森)

または、メールで entry@ynstomo.org

担当：雑木林ファンクラブ

●森を守るボランティア体験

(オンライン開催)

日時：9/26(日) 10:00～11:30

定員：10名(申込多数の場合は抽選)

申込：メール yokohama-nc@wbsj.org

または、Fax 045-894-8892(観察の森)

担当：ハンミョウの会

●自然観察センター主催行事●

■森の生きもの講演会(オンライン)(再掲) 10年後はどうなっているのか?

～トンボとゲンゴロウから見た神奈川県東部と
自然観察の森～

講師：佐野真吾さん(观音崎自然博物館)

日時：9/4(土) 10:00～11:30

(うち講演60分)

申込締切：8/25(水)

詳細はセンター配布のチラシ、またはHPにて

■秋の森 おさんぽラリー(再掲)

セルフガイド「ウグイスの道 秋冬」が新しくなりました。

森のみどころを探して歩こう!(所要時間30分)

開催日：10/1(金)～10/3(日)

受付時間：10:00～15:00

対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

参加方法：観察センターでシートを入手し、各自
散策。無料

●友の会 定例行事●(一般参加者募集)

申込制イベントの申込内容など詳細は友の会ブログ「森のできごと」を参照ください。

●オンラインで季節の森を歩こう

～リモートでの森の観察会です～

9/5(日)・10/3(日)

11:00～12:00(ZOOM 接続 10:30～)

定員：先着10組(1端末が1組、1組何人でも可)

申込：メールで entry@ynstomo.org

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●友の会 定例行事●(友の会会員向け)

●定点カメラで動物調査

9/11(土)・10/9(土)

9:30～12:00

※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。

対象：友の会会員向け

持ち物：汚れても良い白っぽい服、動きやすい靴で
タオル、水筒持参

集合：ごろすけ館 5月～11月の毎月第2土曜

●参加者募集中止・未定の定例行事●

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

しばらくの間お休みさせていただきます。

再開の目処がたちましたらブログ等でお知らせします。

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

2021年度は参加者募集中止です。

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

2021年度の行事活動は中止です。

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、遊びながら自然とふれあい～

2021年度は行事活動は中止です。

発行日 2021年8月22日
発行 横浜自然観察の森友の会
F A X 045-894-8892
E-mail: jimukyoku@ynstomo.org